



ようこそ

鳥取緑風高校に

PTA会長 西井 啓 二



新入学生
と新年度を
迎えられた
在校生、そ

して先生方と家族の皆様から
の祝福を届けます。おめ
でとうございます。

新年度は、未知のウィルス
と共にやってきました。誰
も経験のない出来事が連続し

「新しい生活のスタイル」との
言葉も生まれました。改めて

私たちは、一人一人が日本や
世界中の人々と繋がっている

ことを意識しています。感染
防止の手洗いやマスクをする

こと、不要不急の外出をしな
いことは、自分のためだけで

なく社会のため、全人類に必
要な課題なのです。

「ウィルスの奴めら」は、鳥
取では穏やかな活動ですが、
誰もが何かをしないかするか
を適切に選択したという結果
です。

話は変わりますが、鳥取緑
風高校の令和二年度の重点目
標をご存じですか。①「基本
的生活習慣」、②「主体的に取
り組む」、③「自立と成長を促
す」、④「他者と協力する体験」
の四つを掲げています。

ウィルスとの戦いに必要な
戦略と同じだと思えました。
誰かがする、してくれること
ではなく、鳥取緑風高校に関
係する誰もが自分のこととし
て協働することが勝利への道
なのです。

鳥取緑風高校での学びを持

いつもと違う一学期に

校長 古田 嘉博



本校では
四月七日
に、西井啓
二PTA会

長、小林克同窓会顧問のご臨
席を賜り、入学式を厳粛に
挙行しました。定時制課程
四十一名、通信制課程十六名、
合計五十七名の新生が入学
し、本校での新しい高校生活
を始めました。新入生の保護
者の皆様にはあらためてお祝
い申し上げます。

新入生の皆さんは、それぞ
れに希望と目標を持って本校
に入学したことを思います。
その思いを大切にして卒業を
めざして毎日を過ごしてくだ

さい。

また、在校生の皆さんも新
しい年度の始まりに当たり、
決意を新たに卒業という目標
に向かって学校生活を送って
ほしいと思います。

さて、今年度はいつもの年
とは様子が違う一学期のス
タートになりました。日本で
も世界でも猛威を振るってい
る新型コロナウイルス感染症
拡大の影響が本校にも及んで
きたからです。

入学式は、来賓の方は先に
ご紹介した二名のみに限らせ
ていただきました。また、P
TA関係の行事では、四月末

の総会や五月中旬の第一回緑
風応援食堂を中止にせざるを
えませんでした。保護者の皆
さまにご参加いただき、生徒
に食事をふるまう行事も三年
目を迎えました。生徒も楽し
みにしていただけたにとても残
念です。

生徒関係では、部活動の停
止期間がしばらく続き、六月
初めの県定時制通信制高校総
体も中止になりました。熱心

に練習に取り組む生徒たちが
いただけに残念です。秋に行
われる県生連大会を目標に実
力をつけてほしいと思いま
す。

ただ、本校は少人数の授業
が多く、いわゆる「三密(密閉・
密集・密接)」になることは少
ないので、分散登校や時差登
校をすることなく、通常に近
い状態で生徒も学校生活を送
ることができ、とてもありが
たいことです。今後もし感染予
防に努めていきますので、保
護者の皆さまもご家庭でのご
指導をお願いします。

六月下旬のPTA奉仕活動
には、多くの保護者・生徒の
参加があり、布勢街道から学
校につながる道路の生垣も夏
向きになりました。生徒が日
常を取り戻し、落ち着いた生
活を送れますよう保護者の皆
様には、今後とも本校教育へ
のご理解・ご協力をよろしく
お願いします。



PTA活動の紹介

令和2年度PTAは、昨年に引き続き西井会長のもと、新メンバーを迎えてスタートしました。今年も様々な企画を予定しています。

しかし、折からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、例年実施していたPTA総会、PTA茶話会、緑風応援食堂はやむを得ず中止としました。

なお、令和元年度の活動報告と会計報告、令和2年度の活動計画及び予算案はPTA会員の皆さんの書面審議を経て承認され、本校ホームページにアップしてあります。本校ホームページの「保護者の皆様さんへ」の「PTA活動(Blog)」をご参照ください。

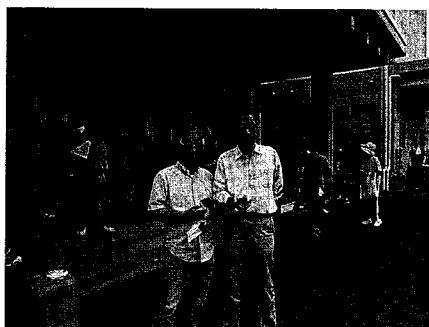
●PTA奉仕活動・交流会

6月27日(土)午前10時からPTA奉仕活動と交流会を実施しました。校門から布勢街道までの通学路のゴミ拾い、花壇の除草、街路樹の伐採などの清掃活動を行いました。生徒や保護者もご参加いただき、教職員と合わせて51名で活動しました。梅雨の蒸し暑い天候の中、しかも、全員がマスクを着用して、1時間ほどの作業を終えると、通学路はすっきりときれ



いになりました。

奉仕作業後には、正面玄関前で交流会を行いました。日頃生徒が学校で購入している「かめのパン屋さん」のパン、PTAが準備したすいかと飲み物を楽しみながら、作業の労をねぎらいました。西井会長と古田校長も満足な表情です。



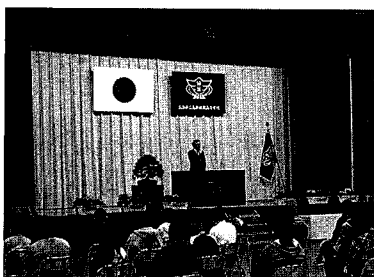
緑の風

今年度がスタートした4月から7月までの主な学校行事を紹介します。

★着任式・始業式

4月7日(火)に定時制課程、4月12日(日)・14日(火)に通信制課程において、着任式・始業式が行われました。

着任式では新たに着任した先生方が在校生に紹介されました。また、始業式では、校長が本校の教育目標である「真摯」「自立」「共生」の意味を改めて説明し、新しい年度をより充実したものとするように生徒に語りかけました。



★入学式

4月7日(火)、令和2年度入学式が挙行されました。

定時制課程41名(昼間部39名、夜間部2名)、通信制課程16名の生徒の入学が許可されました。本校らしいアットホームな雰囲気の中、式典は厳粛に進行しました。

★遠足

4月10日(金)、定時制課程昼間部が春季遠足に出かけました。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1・2年次生は「とっとり出会いの森」へ、3・4年次生は「桜の園」へ分かれ、それぞれ徒歩で行きました。穏やかな日中に恵まれ、満開の桜のもと、散策をしたり、お弁当を食べたり、友人どうしで球技を楽しんだり、思い思いに春の一日を満喫しました。



また、昼間部より後の日程で遠足を予定していた夜間部では、本県および全国的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、やむを得ず中止としました。

★避難訓練

4月15日(水)、定時制課程昼間部および夜間部で避難訓練を実施

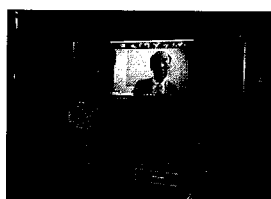


★進路ガイダンス

5月22日(金)、定時制課程昼間部において進路ガイダンスを実施しました。

進学希望の生徒と就職希望の生徒とに分かれ、本年度は新型コロナウイルス感染症感染防止のため、講師の先生と本校教室とをインターネット回線でつなぎ、遠隔オンライン講演会の形式としました。進学希望者のブースでは、大学・短期大学・専門学校の入試方法や学費のことをはじめとして、学習に向かう姿勢についてのお話がありました。また、就職希望者のブースでは、本年度の求人数の見込みや景気の動向、さらには、就職試験に臨む生徒が今学べきことについてのお話がありました。

生徒たちは、将来の自分自身の進路を切り拓くための意識と姿勢を改めて明確にしています。



施しました。

地震発生後に校内で火災が発生したとの想定で、所定の避難経路・避難方法に従って行動しました。今回の集合場所であるグラウンドに向けて、生徒たちは円滑かつ安全に避難できました。

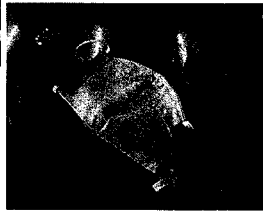


緑風版 「新しい学校生活様式」 — 本校における新型コロナウイルス感染予防の取組み —

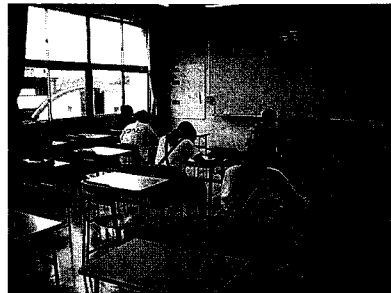
4月10日、本県で初めての新型コロナウイルス感染症が確認され、4月16日には、政府が本県を含む全都道府県に特別措置法に基づく緊急事態宣言を拡大しました。このような状況にあつて、本校では、新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを早期に策定し、昨年度末より生徒と教職員の安心安全を第一として感染症感染を防止するための各種の取組みを進めてきました。健康観察の継続や欠席者の状況把握に努めるとともに、「新しい学校生活様式」確立に向けた取組みも開始しました。本号ではその取組みについて紹介します。

マスク着用の励行と マスク製作

日々の学校生活の中でいわゆる「三密(密閉・密集・密接)」を避けるという原則を守りつつ、各自がマスクを着用しています。また、家庭科の授業等で製作した手作りマスクを着用している生徒の姿も見られます。



身体的距離を意識した 座席配置



日々の授業においても、本校の少人数制授業の特長を活かし、身体的距離を意識した座席配置に努めています。6月10日(水)から15日(月)まで行われた定時制課程の前期中間考査でも、生徒たちは安全にテストに臨んでいました。

校内設置 消毒用アルコール



校内の各施設や教室の出入り口に手指消毒用のアルコールを設置しています。「新しい学校生活様式」の象徴として、授業の始めや終わりに手指消毒を行う光景が当たり前になりつつあります。

保健委員生徒による 「保健教室」での指導

5月29日(金)の定時制昼間部LHRで「保健教室」を実施しました。「これからの健康のために」新型コロナウイルス感染症の予防、歯と口の健康」と題し、生徒の健康リーダーである保健委員が、自ら学習した内容をクイズ形式で全校生徒に伝えました。体育館のドアや窓を開放して換気に努め、身体的距離の確保も意識していました。

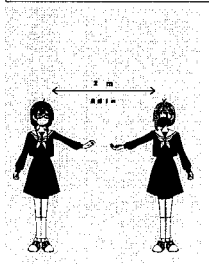
員が、自ら学習した内容をクイズ形式で全校生徒に伝えました。体育館のドアや窓を開放して換気に努め、身体的距離の確保も意識していました。



保健委員が作成した 「身体的距離をとろう」ポスター

保健委員の4年次生が、全校生徒に人との適切な距離を保つことの大切さを知らせるポスターを作成しました。互いに正面を向いたまま視線を合わせた生徒2人が手を伸ばしあい、ちょうど触れない距離を保っている様子が描かれています。距離は遠くても互いの心は近い、ということを表しているのでしょうか。

身体的距離を保とう！



イラスト作成：4年保健委員

職員室パーティーション

対面して業務にあたることが多い職員室には飛沫防止シールドとしてパーティーションが設置されています。農業科の授業が多い本校らしく、園芸支柱を組んだ手作り品です。教職員どうしも安心安全な状態でコミュニケーションが取れています。



学校衛生アシスタント

養護教諭を中心に進めてきた校内の消毒活動の補助として、週に5日間、学校衛生アシスタントが勤務しています。生徒玄関から階段の手すり、トイレのドアノブ、教室の机やドア、スイッチ等、教職員や生徒の手指が触れやすい箇所を消毒用アルコールで拭き、衛生環境の整備に努めています。

部活動の記録

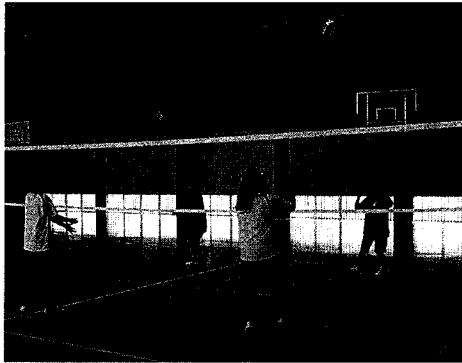
例年、6月上旬に開催される鳥取県定時制通信制総合体育大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、残念ながら中止となりました。そのため、毎年掲載していた本校生徒の試合結果や活躍ぶりを本号では掲載することはできませんでした。

しかし、そんな状況下でも自ら目標を設定し、次なる大会に向けてひたむきに練習に励む運動部員の姿が見られました。

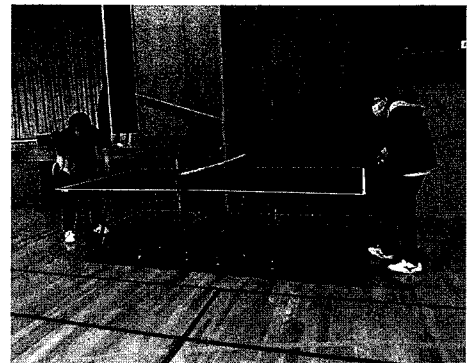
本号では、ある日の体育館の様子をお伝えします。

体育館では、卓球部とバレーボール部、そして、バドミントン部が練習をしていました。

いずれの部活動も身体的距離に配慮した練習メニューを組み、大声を出したり、直接に触れ合うプレーをしたり、といった様子は見られませんでした。

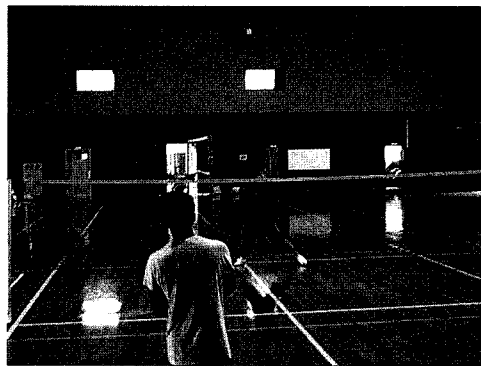


◆卓球部
全国大会常連で、昨年度は男子団体・個人の部で県大会優勝、一昨年度は女子団体・個人の部で県大会優勝という輝かしい戦績を残す卓球部。部員数3名と少人数ながら、「卓球をしつかり楽しむ」ことをモットーとして練習に取り組んでいます。



◆バレーボール部

昨年度、男子が県大会準優勝だったバレーボール部。本年度は女子部員が増加し、次年度以降の好成績が期待されます。大会の開催が見通せない苦しい状況でも、こつこつと地力を蓄えるべく、「基礎基本を大事にした練習」を心がけているそうです。



◆バドミントン部

一昨年度、個人の部で全国大会に出場したバドミントン部。スポーツの中でも屈指の運動量を誇ると言われています。現在はラケットを振り出す角度と、シャトルに当たるときのラケットの面を意識した練習に取り組んでいるそうです。力強いショットと軽やかなステップで、目指せ全国大会！

令和2年度 鳥取緑風高校 PTA 役員

会長	西井啓二
副会長・総務委員長	宮本邦子
副会長・研修委員長	前土居智子
副会長・広報委員長	田原理子
会計監査	田村裕之
会計監査	山脇彰
総務委員会担当	谷口日出子
研修委員会担当	田中・小山
広報委員会担当	伊藤・村上和

PTA関係行事予定

9月24日(木)・25日(金)	保護者懇談
10月18日(日)・20日(火)	緑風応援食堂 緑風祭
11月1日(日)	緑風祭
12月12日(土)	PTA研修会・茶話会
12月16日(水)・17日(木)	定時制保護者懇談
3月1日(月)	PTA会報 発行予定

今後の行事予定

○定時制課程

7月21日(火)	夏季休業開始
8月19日(水)	夏季休業最終日
9月1日(火)～7日(月)	前期期末考査
9月29日(火)	前期卒業式
10月30日(水)	前期終業式
10月2日(金)	後期始業式
10月9日(金)	遠足
10月15日(木)	生徒生活体験発表大会
10月18日(日)	県生連大会
11月25日(水)～30日(月)	後期中間考査

○通信制課程

7月19日(日)・21日(火)	前期考査A
7月26日(日)・28日(火)	前期考査B
8月2日(日)・4日(火)	個別指導
8月23日(日)	遠足
9月3日(木)	テーブルマナー講習会
9月27日(日)	前期終業式
10月29日(火)	前期卒業式
10月4日(日)・6日(火)	後期始業式・AS1